

日本脳炎

★病気の説明

日本脳炎は、蚊（主にコガタアカイエカ）が媒介するウイルスでおこる病気です。夏から秋にかけて流行し、発病すると高熱・頭痛・嘔吐・意識障害やけいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。症状がおさまった後でも、多くに知覚障害や運動障害の後遺症を残し、20～40%は死亡するといわれる恐ろしい感染症です。

★予防接種の受け方

- ・接種対象年齢：Ⅰ期：生後6か月以上7歳6か月未満
Ⅱ期：9歳以上13歳未満
- ・接種する回数と間隔

	標準的な接種期間	接種回数等
Ⅰ期	3歳以上4歳未満	初回：6日以上の間隔で2回接種
	4歳以上5歳未満	追加：Ⅰ期の初回終了後、おおむね1年間隔において1回接種
Ⅱ期	9歳以上10歳未満	1回接種

※平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの方は、接種回数（4回）の不足分を20歳未満まで定期接種として実施可能です。

出典（病気の説明）：よぼうせつしゅのはなし(2024年)抜粋 日本ワクチン産業協会

